

豊野地区住民自治協議会だより

第 39 号

平成 28 年 8 月 1 日 発行者:豊野地区住民自治協議会
事務局(豊野支所内) TEL 217-6638 FAX 257-4776 メール:toyono@valley.ne.jp

春のゴミゼロ運動

5月29日(日)に春のごみゼロ運動が実施されました。今年も各区に分かれ、7つのコースに370人が参加しました。

収集されたゴミの量や種類は下記の通りです。可燃ゴミの量は昨年と比べ少なくなりましたが、不燃ゴミは残念ながら増えていました。地域をきれいにしようと努力していただいている方々がいらっしゃる反面、心ない人もいるということがとても残念に思います。

お忙しい中ごみゼロ運動に参加された皆さん、大変お疲れさまでした。環境美化にご尽力くださりありがとうございました。

ゴミの種類と重さ

(平成28年度「春のごみゼロ運動」及び「河川清掃」実施報告書より)

可燃物	440kg	(昨年度は 480kg)
不燃物	300kg	(昨年度は 230kg)

部会活動の紹介

<人権教育部会>

皆さんは「性的マイノリティ」「LGBTQ(レズ・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー・自分の性別が?マークの状態または変わり者・個性的な)」という言葉を知っているでしょうか。



7月16日(土)に開催された「人権教育部会員及び各組人権教育推進員合同研修会」で、講師の長野市人権・男女共同参画課 指導主事 岩崎勝幸先生が「性的少数者の人権を考える」という演題で講演されました。

「はるな愛」や「マツコ・デラックス」等、多くのタレントがカミングアウト(公表すること、人に知られたくないことを告白すること)しています。しかし、この豊野に住んでいる私たちには身近に感じられませんでした。ところが、ある統計では人口の6~8%がLGBTQの人たち、つまり学校現場でいうなれば、1クラスに1人の割合ということなのです。DVDの中では、中学2年生の少女がトランスジェンダー(心と身体の性別に違和感を持つ)と自覚しながら、カミングアウトできずに悩む姿も紹介されました。

性的少数者の人権を考えることはまだ道半ばだという講師の言葉に、この豊野地区の人権教育推進員はどう進めていくのか、課題をもらった研修会でした。

〈女性部会〉

『食の機能性で健康長寿』講演会

6月4日（土）、公民館にて公民館と女性部会の共催で、信州大学工学部 松澤恒友特任教授を講師にお招きし、「食の機能性で健康長寿！」と題した講演会を開催しました。

松澤教授は長野県産素材による健康でおいしい「ながのブランド郷土食」を立ち上げ「信大のこカレー・ハヤシ」「丸ごとりんごジャム」「信州発えのきヨーグルト」などを企業と共同開発して商品化し、地域の活性化に貢献しておられる方です。

「何を食えば健康で長生きできるのか、免疫力を上げるにはどうしたらいいか、食の機能性とは」などについて学びました。機能という言葉が「食」に使うという馴染みのなさがありました。機能とは「食品が本来持っている人体に及ぼす力」ととらえるとわかりやすい感じがしました。

教授によると、食品には一次機能として栄養素を人体へ供給する役割＝栄養的価値、二次機能として呈味性や嗜好特性などのいわゆる感覚機能＝おいしさ、そして三次機能として人体に及ぼす生体調節機能＝機能性があり、この「機能性」に生体防御、生体恒常性の維持、疾病回復機能、生活習慣病の予防と改善があるとのことでした。

食品が持つ機能の具体例として、りんごやキノコを使ったドロドロ血液の血流改善実験のデータや、えのきが持つ制がん作用や発がん防止作用実験の結果が示されました。えのきでがん予防という話は以前から良く聞いていましたが、実験データを拝見してえのきパワーを再認識しました。

教授から試食としていただいた「信州発えのきヨーグルト」は、なめらかで癖もなく、とてもおいしいヨーグルトでした。食品の機能が素晴らしくても、おいしくなくては食べ続けられません。どんなものも「まずい！」より「うまい！」方が続けやすいと思います。

教授は講演の最後に「今後も長野県の特産農産物を有効利用し、健康寿命にも寄与できる高付加価値食品を開発し、さらなる地域貢献を目指したい。」と話されました。女性部会は「郷土食の伝承」を独自事業とし、健康増進や仲間作りなど生活の充実を目指しています。豊野には果物や野菜が豊かにあり、食にこだわる仲間もたくさんいます。松澤教授のお話は伝承活動に通ずる部分が多く、仲間のエネルギー源になりました。



講演する松澤教授

『日赤社資・寄付金』

『緑の募金』

結 果 報 告

日赤社資・寄付金 955,600円

緑の募金 261,850円

5月にお願いいたしました『日赤社資・寄付金』・『緑の募金』が上記の結果になりましたので報告いたします。

集金し、事務局へお持ちいただきました地域の役員さんをはじめ、おおぜいの皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

リオ パラリンピック 日本代表

応援しよう 藤澤 潔 選手

藤澤 潔さんは、豊野町出身の男子車いすバスケットボールの選手です。藤澤選手の武器は、ゴールから離れた距離からの正確無比なミドルシュート。主力選手へのマークが厳しくなる中で、藤澤選手の動きが攻撃のカギを握ります。

そんな藤澤選手を応援するため、応援の横断幕を設置しました。豊野地区内6ヶ所に掲示しています。

その他、寄せ書きなどを通じて応援の輪が広がっています。

